

交通計画課長



副課長



鉄道事業室長



室員



復命書

令和4年6月24日

千葉県知事 熊谷俊人 様

所 属 総合企画部交通計画課

職氏名 副主査 秋葉 琢人



私は、命により旅行したところ、その概要は下記のとおりでした。  
以上復命します。

記

- 1 用 務 北総鉄道株式会社第50期定時株主総会
- 2 旅 行 先 北総鉄道株式会社 本社1階会議室
- 3 旅行期間 令和4年6月23日(木)
- 4 概 要 決議事項3点について、異議無く承認された。  
詳細は別添のとおり。

## 1 総会成立の報告

- ・定款の定めにより、室谷社長が議長を務める。
- ・有効議決権数は必要数に達しており、総会が定足数を満たす旨の報告。

○出席株主数：14名（委任状提出者も含む）

＜株主総数 15名＞

○有効議決株式数：49,780千株

＜発行済株式総数 49,800千株＞

## 2 監査報告

小山常勤監査役による監査報告。監査の結果、指摘する事項はなし。また、独立監査人によると、全ての重要な点において適正に表示していると報告を受けている。その監査の方法及び結果は相当であり、指摘すべき事項はない。

本日の株主総会に提出している議案及び書類については、いずれも法令及び定款に適合しており、指摘すべき事項はない。

## 3 事業報告

室谷社長より、第50期（2021年4月1日～2022年3月31日）の事業報告、貸借対照表及び損益計算書等について説明。

## 4 質疑応答等

### 印西市・板倉市長

今年には長年の悲願であった北総線運賃が大幅に値下げされる記念すべき年であり、北総鉄道が創立50周年を迎える節目の年である。運賃値下げについては、室谷社長を始め、経営陣の優れた決意と英断に尽きるものと考えている。改めて深く感謝の意を表するとともに、千葉ニュータウンの歴史に輝かしい記録として新たな1ページが加わるものと思っている。

この50年間、会社を取り巻く環境は多くの苦難を伴ってきたことは、皆さんが知っていると思うが、貴社に関わった多くの先人と、歴代社員のたゆまぬ努力によって、私たちの地域の大切な移動手段である北総鉄道が「安心」「安全」に運行され、生活基盤を支える重要なインフラとして、社会貢献していることに対して、改めて感謝を申しあげる。

また、2年前からの新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の社会状況下においても、数々の経営努力により、第50期決算においても、22期連続の黒字を達成し、有利子負債と繰越損失が着実に減少したことはうれしく思う。印西市においても、印西牧の原地区を中心とする住宅開発や北総線沿線への企業誘致が堅調に推移しており、今後も更なる発展を遂げてくものと確信している。

私も市長に就任以来、できるだけ株主総会に出席し、どうしたら高運賃問題

を解決できるか、絶えず考えてきた。特に子育て世代の通学定期運賃については、約 20 年前に沿線自治体による独自の補助制度を創設し、その後、現在まで様々な方の努力により、通学定期運賃を低く抑える施策が続けられている。このような動向の中、昨年 11 月の貴社の運賃値下げの発表、特に通学定期の値下げについては、64.7%という他の追随を許さない大幅値下げに、これまでの印西市の 20 年間の取組を思い出して、感涙にむせぶ思いであった。悲願中の悲願が、ついに到来する瞬間が来るわけである。何度感謝しても足りない思いである。

印西市としても、これまでと同様に、貴社、沿線市、県等で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動や千葉ニュータウン中央駅前でのイルミネーションイベント「イルミライ INZAI」などを通じて、沿線の活性化や北総線利用促進に取り組んでいくので、ぜひとも印西市内の更なる利便性向上のため、印西牧の原駅から都心への速達性の確保に向け、ご検討を引き続きお願いする。

### **白井市・笠井市長**

会社創立 50 周年おめでとうございます。室谷社長をはじめとした歴代の社員の皆さまのご尽力により半世紀を迎えることに対して、心から敬意を表する。

北総鉄道が創立された昭和 47 年当時の白井町は人口約 11,000 人程度の町でありました。昭和 54 年の小室～北初富の鉄道開通に合わせて、白井・西白井駅周辺の入居が始まり、今では人口 62,000 人余りまで増えてきた。まさに白井市は、北総鉄道と共に歩んできたと考えている。今期においても、新型コロナウイルスの感染への不安が鉄道利用者にある中でも、鉄道事業者として「安心」「安全」の責務を果たし、市民の移動を支えてもらっている。

昨年の株主総会では、室谷社長から運賃値下げの可能性の検討に着手という回答をいただき、昨年 11 月には、本年 10 月から通学定期を中心とした大幅な運賃値下げを行うという速度感を持ったご英断に感謝を申し上げます。市民からも多くの歓迎や喜びの声を聞いている。

今期の経営状況を見ると、1 年間を通して新型コロナウイルスの影響を受けて、厳しい経営環境にある中で、増収・増益し、当期純利益も前期以上に確保し、繰越損失・有利子負債も減少している。これは会社が 1 年間を通して、会社一丸となって経営努力をたゆまなく続けてきた賜物であると大変評価している。今後、人口減少や少子高齢化が見込まれる中で、引き続き「安心」「安全」の確保と更なる経営の安定化に向けて、進めていただくようお願いする。なお、そのためには、沿線の活性化になるようなにぎわいづくりや乗降客の増加に向けた取り組みが必要であると考えており、市においても、白井駅・西白井駅を中心としたにぎわいづくりができるように、北総鉄道とともに様々な取組を進めていきたいと考えている。

令和 3 年度には、白井駅・西白井駅に副駅名称を募集し、白井駅は「ときめき梨の里」、西白井駅は「梨も騎手も育つ街」が選ばれたこと。また、

市内にある日本で唯一の JRA 競馬学校を舞台としたテレビアニメ「群青のファンファーレ」が放送された際には、貴社にも協力いただき、記念乗車券の販売や出演声優のサイン入りポスターの提示等により、SNS で多くの反響があった。貴社と市が協力して、魅力発信を進め、良い取り組みができたと考えている。

会社の次の 50 年に向けて、貴社・千葉県・沿線市が一丸となって、更なる取組を進めていく所存である。

### **北総鉄道**

北総鉄道は会社創立 50 周年を迎えることが出来たのは、印西・白井両市を始め、京成電鉄、千葉県、UR などの株主の皆様のご長年の支援の賜物であり、この間、ご利用くださっているお客様のおかげである。まずはこのことに心から感謝申し上げます。また、長年の懸案事項であった運賃についても、10 月から値下げが実施できることとなり、感謝申し上げます。

運賃問題については、これまで株主総会においても厳しいやり取りが繰り返され、当社としても、何とかしたいという思いは同じであるのに、対立関係になってしまっていることに心を痛めていた。この点についても、ご理解・評価をいただいたことに感謝申し上げます。沿線自治体と鉄道会社は、本来ウィンウィンの関係にあると思う。両市長からは沿線活性化に向けた力強いご発言をいただいた。今後とも、関係を密にして、沿線価値の向上、さらに利用しやすい鉄道、さらに住みやすい地域を目指して、ともに歩んでいきたいと思っているので、これまで以上に、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 5 議案採決

第 1 号議案 取締役 6 名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第 2 号議案 監査役の報酬額改定の件

⇒ 異議なく承認可決

第 3 号議案 退任取締役へ退職慰労金贈呈の件

⇒ 異議なく承認可決

(以上)